

FMA (Fugl-Meyer Assessment) 記録用紙



原著 : Fugl-Meyer AR, et al. Scand J Rehabil Med. 1975;7(1):13-31.

氏名 ()	ID ()
年齢 () 歳 性別 (M / F)	診断名 ()
発症日 (年 月 日)	麻痺側 (右 / 左) 病期 (急性 / 亜急性 / 慢性)

FMA-UE 評価領域 (合計66点) / FMA-LE 評価領域 (合計34点)

FMA-UE (上肢)		FMA-LE (下肢)	
A. 肩・肘・前腕	36点	E. 股・膝・足 (運動)	17点
B. 手関節	10点	F. 協調性・速度	6点
C. 手指	14点	反射活動	4点
D. 協調性・速度	6点	関節可動域・疼痛 等	別途

FMA-UE (上肢) スコア記録

評価日				
評価者				
A. 肩・肘・前腕 (/36)				
B. 手関節 (/10)				
C. 手指 (/14)				
D. 協調性・速度 (/6)				
合計 (/66)				

FMA-LE (下肢) スコア記録

評価日				
評価者				
E. 股・膝・足 運動 (/17)				
F. 協調性・速度 (/6)				
反射活動 (/4)				
合計 (/34)				

変化量の判定

判定項目	2回目→1回目	3回目→2回目	4回目→3回目	5回目→4回目
対象 (UE / LE)				
変化量 (点)				
MDCを超えたか (Y/N)				
MCIDを超えたか (Y/N)				

SEM・MDC・MCID 参照値 (病期別)

指標	病期	MDC	MCID	出典
FMA-UE (/66)	早期亜急性期	—	7~13点	Lundquist (2017)
	亜急性期	—	約4点	Page (2012)
	慢性期	5~7.2点	4~7点	Lin (2010) / Page (2012)

FMA-LE
(/34)

慢性期

3.6~3.8点

約6点

Hervé-Colas (2026)

FMA-UE 重症度分類 (Woytowicz et al., 2017 | 4段階)

スコア	重症度	臨床的解釈
0~15点	重度	共同運動パターンが優位、分離運動はほぼ困難
16~34点	中等度	分離運動が部分的に出現
35~53点	軽度	分離運動が広く可能、速度・協調性に課題
54~66点	最軽度	日常生活での上肢使用がほぼ可能

特記事項 (代償動作・痙縮・疼痛・努力性・気付き等)

.....

.....

.....

この記録用紙はBRAIN Webサイトから無料でダウンロード 出典：Fugl-Meyer (1975) / Woytowicz (2017) / Lin (2010) / Page (2012) / Lundquist (2017) / Hervé-Colas (2026) ドできます。